



高島学園

中学校だより【第10号】

令和4年 9月12日

TEL36-0079 FAX36-8012

【文責 校長 浦島 容子】

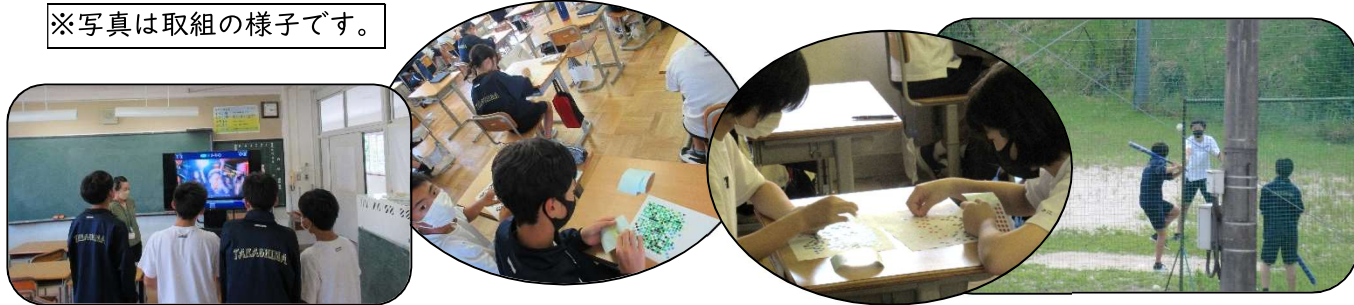
○自分たちが創る文化祭

文化祭準備から10日が経ちます。「合唱うまくなってきたから、聞いてや。」「うちの学年の、ステージはすごいし、たのしみにしててください。」生徒から、こんな声をたくさん聞くようになりました。16日の文化祭が待ち遠しくて、わくわくします。

文化祭の取組が始まって1週間。職員室でも、「みんな進んでやってくれるし、まとまるわあ。」「合唱よくなってきたわ。パートリーダーのおかげやわ。」「困ってたんやけど、話し合って、良いアイデアを出してくれたわ。さすが代議員や。」と、日がたつごとに、先生の話がはずみます。自分の強みを生かし、学級に貢献している生徒の姿が多くなっています。生徒一人一人の手で、高中の文化祭が創られていっていることを実感します。

生徒会役員の方は、各学級や各学年がうまく進行しているかと全体を見渡し、また、当日に向けての準備にと率先して行動してくれています。中学校における学校行事は、このように生徒が主体となって行われるものです。もちろん、うまくいかないことはあるものです。この時が、チャンスです。みんなで考え、話すことでうまくいきます。時間をかけることで、必ず、学級の、学校の絆は強まります。そして、それが、「輝憶」となっていくのです。

※写真は取組の様子です。



○朝の始まりが一日をつくる

二学期がスタートして数日、依然コロナ感染対策には気の許せない状況が続いていますが、学校生活はとても落ち着いています。毎朝8時20分のチャイムが鳴る25秒間に、どのクラスも静かな読書時間へと変わります。8年生は、チャイムが鳴る前からすでに読書をしている生徒もいますし、集中力はかなり高いです。「座りなさい」とか、「読書やで」とか、「チャイム鳴ったで」などという担任の先生の言葉はいっさいありません。これぞ本物の力と言えます。久しぶりに8年生のこの様子を見られた先生が、「ホンマ、やばいわ!」と思わず言葉にされたほどです。

生徒は自分の読みたい本を読んでいます。時々、お気に入りの本について話し、すすめてくれる生徒がいます。読んだ本について、自分の考えを話してくれる生徒もいます。読書をした後の学習効果や仕事効率は高いと、いろんなところで言われていますが、高島中学校にもその効果（裏面）が表れています。

二学期になって、地域の方も廊下で読書をされています。用務員の前田さんも、先生たちもこの時間に本を読んでいます。大人にとっても読書をして、心を豊かにすることはとても大切なことです。高島町の一日の穏やかな始まりがここにあります。



○全国学力学習状況調査より ～全国学力学習状況調査（４月実施）結果の分析より～

例年の国語、数学に加えて、今年は理科の３教科が実施されました。

全国の正答率は、国語 69.0％ 数学 51.4％ 理科 49.3％でした。本校は、３教科とも全国の正答率を上回りました。国語では、言葉の特徴や使い方に関する問題や文章を読んで理解する問題、数学では、数や式に関する問題や図形問題、理科では「粒子」や「地球」に関する問題が大きく上回りました。

９年生は、毎日の授業で、グループで協力して問題を解いたり、多くの意見を出し合い、それをよく聞き合ったりしていますが、日常の学習を大事にしていることが結果につながっていると分析されています。また、日頃の読書の習慣が、読んで理解する力の向上につながっているとの結果でした。今の雰囲気大切にすることで、これからも成長が見込まれます。

課題をあげると、全教科で「記述問題」は全国平均ではあるものの、無回答率が高いとわかりました。このことから、「書く力」を伸ばすことに力を入れる必要があると言えます。自分の考えをわかりやすく言葉・文章にするというのは、最も求められています。生活記録や、学習のまとめなどを書くことに力を入れてみてください。書くことは苦手だという人は、短い文章を書くことから始めてもよいでしょう。授業で人が言ったことを文字にして残すことから始めてもよいでしょう。こんな積み重ねが「何かを回答しよう」とする力につながり、無回答を少なくしていく手立てにもなります。

全国学力学習状況調査の問題は求められる学力がどれだけについているのかを見るテスト問題となっていて、滋賀県の高校入試問題も、これと同様の内容に変わってきました。義務教育で身につけたことをもとに高校入試が行われ、普段の勉強をしっかりとすることが求められています。

同様に、生徒質問紙の結果が、教科の正答率と関連すると分析され、全国の小中学校で注目されるようになりました。つまり、「学力とは何か」ということが確実に見直されました。

「自分には良いところはあると思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」

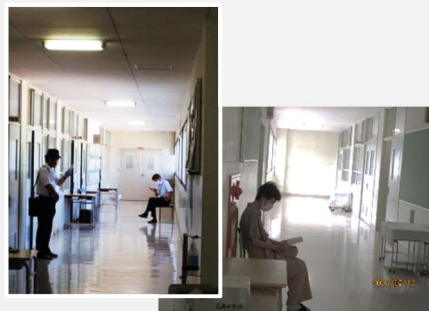
「友達と協力することは楽しいと思いますか」「地域や社会をよりよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という質問がありましたが、これらについてご家庭で話題にしてみてください。学力を伸ばすには、「どんな気持ちで生活を送るか」ということが大切だということです。

また、大切なのが、家庭学習です。全国学力学習状況調査で常に上位にある福井や秋田は、家庭での学習時間が圧倒的に長いというのが要因です。学年でめやすとする時間はありますが、実際に可能な時間はどれくらいでしょうか。家庭学習の習慣化や内容の充実は必須となっています。

個人の結果は、１０月に返却されることになっています。

○学園運営協議会 参観から参加に

８月２９日（月）二学期初日、３人の方が朝読書に参加してくださり、３１日（水）もでした。９月１日（木）は学園運営協議会の委員のみなさんも参観ではなく、１０分間朝読書に参加をしてくださいました。自ら行動する力と集中力のすごさは、学園の児童生徒の強みであり、地域に広めたいと話されていました。



また、学校評価から、生徒への「学校は楽しいですか」や保護者への「子どもは楽しんで学校に行っていますか」という質問の回答は、一人一人に寄り添う上でとても貴重だと話してくださる方がありました。すべての児童生徒にとって楽しい学園となるよう、周囲の大人が協力して見守りを続けることを確認しました。今回も子供たちのよりよい成長を願う協議がなされました。